

SHOW HEY シネマルーム

★★★★★

ディープ・ブルー・ナイト

2002 (平成14) 年11月30日鑑賞

Data

監督: ペ・チャンホ (裴昶浩)

出演: アン・ソンギ (安聖基) / チ
ヤン・ミヒ (張美姫)

<ショートコメント>

これは、1984年製作の韓国映画。自由の国、民主主義の国アメリカを夢見て入国した韓国人青年ホビン (安聖基) は、アメリカ永住権を手に入れようとしていたが、コトはそう容易ではない。これは、パールハーバー (1941年) 前後の日系アメリカ人が、どういふ扱いを受けたかを照らしあわせて考えればよくわかるはずだ。

それはともかく。主人公ホビンはアメリカのバーで働く韓国人女性ジェーン (張美姫) と偽装結婚。ジェーンは偽装結婚による収入を狙い、今回は6回目だ。しかしそう何回もコトはうまく進むのか? また結婚とは、お金だけで本当にビジネスとして割り切れるのか?

今の日本には韓国、中国をはじめ東南アジアの人たちが多数滞在しているが、そのビザは多種多様だ。この映画と同じく、日本での滞在権を得るための「偽装」(めいた) 結婚も多い。従ってこの映画が描く姿は決して過去のものではなく、今でも大きなインパクトがある。

そして何しろジェーンに扮する張美姫の魅力には惚れ惚れする。特に前半の偽装結婚ビジネスに徹し、ホビンを寄せつけない、リッチだが孤独な一人暮らしをキープしているジェーンの生きざまや美貌にはうっとりさせられる。もっとも、後半には、やはり好きな男性に弱いという女の弱さを見せてしまうが、それはストーリーとしてやむを得ないもの。

そして意外なラストシーンは……。すばらしくカッコいい。

2002 (平成14) 年12月2日記